

令和6年度 北海道森林管理局分収林評価委員会の議事概要

1 日 時 令和6年8月6日（火）10時00分～11時30分

2 場 所 北海道森林管理局 4階 中会議室

3 議 題 分収育林契約の国による費用負担者の持分の買受けについて

第1号議案 留萌南部森林管理署管内 小川国有林2174は林小班の買受けについて

第2号議案 宗谷森林管理署管内 浜頓別国有林1093い林小班の買受けについて

第3号議案 上川中部森林管理署管内 愛別国有林63は林小班の買受けについて

第4号議案 上川南部森林管理署管内 双珠別国有林1229い林小班の買受けについて

4 出席者

委員長 菅澤 紀生

委 員 奥村 篤、濱田 修弘

北海道森林管理局 森林整備部長、森林整備第一課長、資源活用第一課 課長補佐、
森林整備第一課 監査官、分収林係

留萌南部森林管理署 総括事務管理官、森林情報管理官、主任森林整備官

宗谷森林管理署 事務管理官、森林整備官

上川中部森林管理署 総括森林整備官

上川南部森林管理署 総括森林整備官、森林情報管理官

5 議事概要

委員による審議の結果、持分買受金額は適正に評価されていると判断された。

なお、主な質疑応答は次のとおり。

(第1号議案関係)

委員： 施設経費に関して、当該分収育林地は図面上では沢向かいに林道があるが、このほかに当該分収育林地内に利用できる作業道等はないのか。

局： 当該分収育林地外には既設の道があり、ほぼ既設の道で対応できるが当該分収育林地内については既設で利用できる道は一部しかない。

委員： それはなぜか。

局： 当該分収育林地については過去の間伐作業を冬季に行っているため、利用できる道が残っていないため。

(第2号議案関係)

委員： 針葉樹の利用率がほかの物件と比較して高いように思うがそれはなぜか。

局： 径級の大きい樹木が多く、樹高の伸びも良いため。

委員：施設経費について、2号議案については1号議案よりも立木の材積が多いが現場諸経費等はそこまでかかっていないように思うが、現場諸経費等は材積が関係して変わるのか。

局：現場諸経費等については総出材量から集材工程がどの程度かかるか算出し、その経費をもとに関係各経費を算出したものになるので、間接的に材積が関係するものもある。

委員：立木価格における広葉樹の基準単価について、平均値が算出されていると思うが、1本1本価格を決めて算出しているのか。

局：樹種毎、径級毎に算出している。

委員：物件明細を見ると品質区分に1級のものがあるが、品質区分はどのように判断されるのか。また、品質の高い樹木があれば価格も高くなるのか。

局：品質については樹木の通直性や節の有無、径級等によって判断される。また、品質が高い樹木があれば価格も上がるが、今回の場合においては大きく価格に影響していない。

(第3号議案関係)

委員：生産経費単価の広葉樹の運材についてほかの物件と比較して一番安くなっているが、ほかの物件と何が違うのか。

局：過去に3度間伐を行っており、既設の作業道もすべて利用可能であり、林道にも近いため。

委員：広葉樹についてほかの物件と比較して細いようにも思うがなぜか。

局：傾斜が急なことや笹が深く、積雪も多いことなどが影響していると考えられる。

(第4号議案関係)

委員：生産経費単価の広葉樹の造材経費について他の物件よりも安くなっているのは樹木が細いためか。

局：そのとおり。

以上